

オンライン 地区別父母懇談会 開催

二松学舎大学 父母会報



細谷文雄
〔父母会長〕



江藤茂博
〔学長〕



福島一浩
〔副学長〕



五月女肇志
〔学務局長・父母会副会長〕



瀧田 浩
〔文学部長〕



佐藤 晋
〔国際政治経済学部長〕



中川智弘
〔教務課員〕



馬淵裕之
〔学生支援課長〕



飛田正太郎
〔教学事務部長〕



中原敬二
〔教学事務部副部長・教務課長〕

平成5年5月10日創刊
令和3年10月20日発行
(第114号)

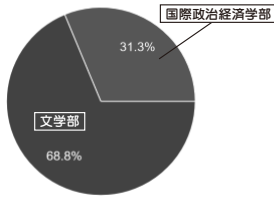
二松学舎大学父母会
(本部・事務局)
東京都千代田区三番町6番地16
二松学舎大学学生支援課

題字は
故 観山貞広常吉先生書

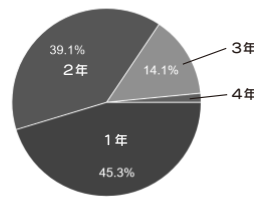
二〇二一年七月十七日(土) 十三時
〇〇分から、二〇二一年度二松学舎大
学地区別父母懇談会を開催しました。
地区別父母懇談会は、一九九五年の父
母会発足当初から続く、父母会主要事
業の一つで、大学の現状を報告し、学
生の大学での生活ぶりを伝え、学業成
績の内容及び将来の進路等について、
父母と教職員が一体となって考える
ことを目的として開催しています。新
型コロナウイルス感染拡大のため、昨
年は、資料の配布のみとさせていただ
き、今年も地方の会場での対面形式で
の開催はかありませんでしたが、父母
会初となるZOOMによるオンライン
形式で開催いたしました。
本来であれば、大学から学長・副学
長・学務局長・学部長・両学部の教員
及び職員が分担して各地に赴き、父母
との懇談を行うものですが、九段キャ
ンパスから配信をいたしました。
懇談会の内容は学長挨拶、本学のコ
ロナ対策について、大学の概況につい
て、学部・学科の現況について、時間
割・成績通知書の見方について、学生
生活について、でした。このうち父母
の関心が高かったのは、「時間割・成
績通知書の見方について」でした。
参加者アンケートを実施し、父母か
らのご意見ご感想をお寄せいただきま
した。アンケート結果を本号に掲載い
たしましたので、ご一読ください。

回答者の所属・学年

お子様の学部をお答えください。
64件の回答



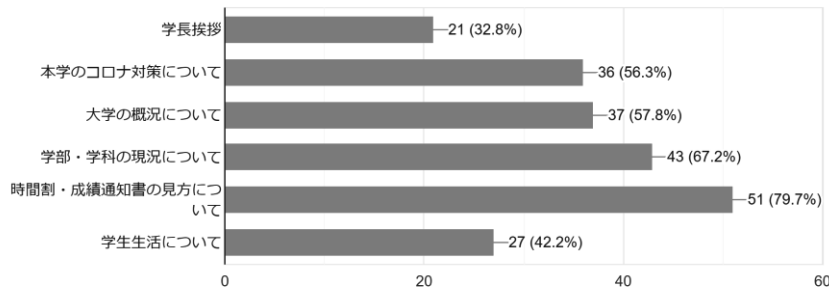
お子様の学年をお答えください。
64件の回答



オンライン地区別父母懇談会アンケート集計結果
参加者一三六名のうち、六四名の御父母の皆様からアンケートのご回答をいただきました。貴重なご意見は、父母会活動や次年度以降の地区別父母懇談会に活かしていきたいと思えます。

父母懇談会の内容で良かったと思われる項目

父母懇談会の内容で良かったと思われる項目を選択してください。(複数回答可)
64件の回答

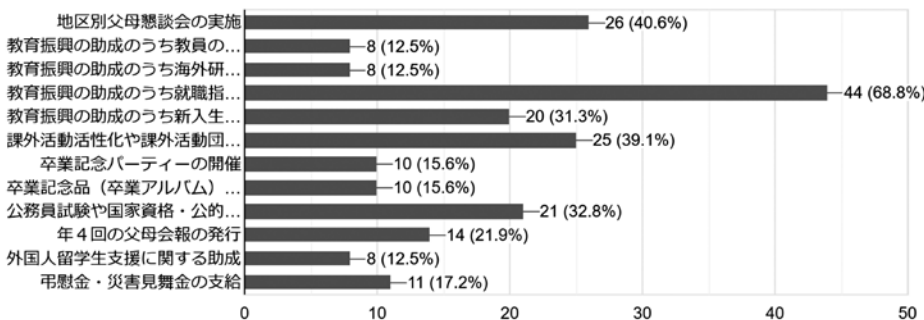


選択肢

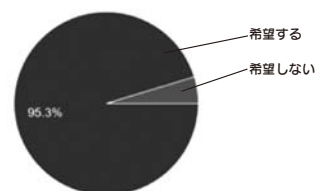
- 地区別父母懇談会の実施
- 教育振興の助成のうち教員の海外研修に対する助成
- 教育振興の助成のうち海外研修学生引率者に対する助成
- 教育振興の助成のうち就職指導に対する支援
- 教育振興の助成のうち新入生教育に対する助成
- 課外活動活性化や課外活動団体(部活など)への助成、学生顕彰など
- 卒業記念パーティーの開催
- 卒業記念品(卒業アルバム)の贈呈
- 公務員試験や国家資格・公的資格および検定試験合格者への奨学金の給付
- 年四回の父母会報の発行
- 外国人留学生支援に関する助成
- 弔慰金・災害見舞金の支給

二松学舎大学父母会では以下の活動を行っています。今後はますます活性化が必要と思われる項目を選択してください。(複数回答可)

二松学舎大学父母会では以下の活動を行っています...われる項目を選択してください。(複数回答可)
64件の回答



来年以降のオンラインでの父母懇談会の開催について
64件の回答



今回の自由記述で寄せられたご意見・ご要望、及び大学や父母会にお寄せいただきましたご意見の中から、何点か回答させていただきます。

〈地区別父母懇談会について〉

Q. 今後の父母懇談会の開催形式について

A. 父母懇談会は、例年学生の在学中に一度はお会いできることを想定し、各都道府県を四年に一度のペースで回らせていただいております。

今回、オンラインでの開催を行ったところ、一定のご評価をいただきましたので、これまでの出張形式に合わせ、引き続きオンラインでの開催も継続していきますよう検討し、一人でも多くのご父母の皆さまとお会いできる場を作っていきたいと思っております。

Q. 質問時間を長く取ったほうがよいと思う。(政5年)

A. 今回は、事前質問のみの回答と

させていただきます。ご意見を踏まえ、次年度以降検討させていただきます。

〈大学生生活等について〉

Q. 国際政治経済学部 of 二年生は一年遅れの入学式ができたことを知り、驚きと共に文学部二年生との不公平を感じました。(文2年)

A. 文学部・国際政治経済学部ともに、二〇二〇年度入学生を対象として、二〇二一年三月三〇日(火)九段キャンパス中洲記念講堂で入学式と学科懇談会を開催いたしました。コロナ禍において急遽の決定、連絡となったため、残念ながら参加できない学生もおりましたが、一年生全学生のうち約六割にあたる四百名程が参加しました。

なお、今回の入学式の様子については、ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。(URL: https://www.nishogakusha-u.ac.jp/news/?contents_id=1822)

Q. 希望する学生にはなんとか、ほぼ対面授業の形式をお願いしたいと存じます。(文1年)

A. 本学では、学生の皆さんの「登校して学びたい気持ち」に出来る限り、寄り添っていくという方針のもと、感染状況に合わせた活動基準 (URL: https://www.nishogakusha-u.ac.jp/upload_file/20210823114458260395633.pdf) を定め、東京都の感染状況等を考慮し、対応を決定してまいりました。

また、学生の皆さんに、以下のような感染対策へのご協力をいただくことを前提に、状況が許す限り「学校を開く」ようにしたいと考えています。

- ・入館の際の、マスク着用、アルコール消毒、体温チェック、学生証登録を必ず行うこと

- ・登校して授業を受ける場合は、必ず時間割に記されている教室にパソコン、スマートフォン等を持って来て受講すること

- ・出席表に座席番号と氏名を記入して提出すること

- ・不要不急の来校、徒に長時間

滞在するようにはしないこと
・自分自身、同居する人や周囲の人に発熱等体調不良が認められる場合には登校しないこと

- ・できるだけ感染予防効果の高いとされる「不織布マスク」の着用を心掛けること
- ・飲食をする場合には「黙食」を行うこと

- ・大声での会話・談笑は控えること

これらについて、励行されているか教職員が定期的に学内を巡回し、確認しています。

Q.

思い描いた大学生生活が出来ず、大学では登校してもコロナ感染予防から友人をつくる事、話しかける事も難しく、一、二年生は孤独な学生が多いのではないかと思います。学ぶ事はもちろんですが、その学びを友人と意見し合える事も大切なのだと思います。状況が落ち着きましたら学年、学部別に再度学生同士が交流出来る機会が必要なのではないかと思えます。

A.

本学では、学生同士が交流し、

多様な立場、環境から、意見を出し合うことも重要な教育活動と受け止めています。これまでも前述のとおり入学式の実施や、ゼミナール・基礎ゼミナール等の少人数授業における対面

授業のほか、オンライン中心ではあります。学生会による新入生歓迎式典、学園祭に代わるクラブ・サークル紹介などを行ってききました。

クラブ・サークルによっては、オンライン上ではありますが積極的に活動をし、交流をしている団体もあるようです。このように制約が多い中でも学生同士が交流できる機会を積極的に創出するよう努力しています。

Q. 直近の就職状況や就活への大学の取り組みなども知らせて頂けると参考になります。(政2年)

A. 父母会報にも「キャリアセンターだより」を掲載し、就職状況についてお知らせをさせていただいております。キャリアセンターでは、母の方からの相談にも応じておりま

すが、就職活動は、学生本人が自立して行うものですので、まずは本人がキャリアセンターを訪ねるようご指導いただければ幸いです。

Q. 大学院進学に関しての情報をいただきたいのですが、キャリアセンターにお問い合わせすればよろしいのでしょうか。(文3年)

A. 大学院進学についてのご相談は、まずはゼミの指導教員と先生さんご本人でご相談されるのがよいと思います。本学の大学院を受験する場合には、入試要項などの配布は、入試課で承っております。

〈コロナウイルス関連〉

Q. 学生の九割が一都三県から都心への通学者で占め、コロナ感染リスクも大きいなか、大学として職域接種は現在のところ予定ない、とする理由を父母会へ明確に説明して欲しい。(文2年)

A. 大学で実施する職域接種については、平面の広い会場が必要な様々な条件があり、最終的に本学では実施することができませんでした。ただ、大学として積極的にコロナ感染対策を進める観点から、東京都が実施している大学生への優先接種、千代田区内の大学で協定を結んでいる他大学の拠点接種への参加等、学生の接種機会を確保するとともに、学生に案内していただきます。

Q. PCR検査などの実施状況について

A. 本学では、東京都が実施するPCRモニタリング検査に協力しています。このモニタリング検査は、東京都が新型コロナウイルスの感染者を早期に探知、感染再拡大の防止を図るため、人流のある場所などで行っているものです。五月末から六月にかけて学内の会場で実施したほ

か、現在も郵送による検査を実施しています。

Q. 大学内の感染者について

A. 本学における感染者につきましては、HPに随時発表させていただきます。幸いなことに、これまで学内外でのクラスター等の発生は認められておりません。

今後も新型コロナウイルス感染防止対策を講じるとともに、学生の健康と安全の確保を第一に取り組んでまいります。同時に感染者・ご家族等の人権尊重・個人情報保護にご理解とご配慮をお願いいたします。

〈その他〉

Q. ライブキャンパスを保護者も利用できる事など、今まで子ども任せで知らなかった事を丁寧に説明して頂き感謝しています。

A. 周知方法の改善など、検討していきたいと思っております。

雨が続いた初秋のようやく晴れた秋セメ開始の日にこれを書いています。とはいえ緊急事態宣言下、校舎はがらんとしています。何をすることもコロナの影響で自由な行動ができなくなっています。一年半以上経ちます。今の一、二年生は未だ数えるほどしか教室にいられていません。大学で出会う友人との交流、サークル、旅行、当たり前前にでき

たはずのことが実現できずにいます。学生相談室ではそんな学生さんの悔しさとも悲しみともつかない、腹立たしいけれども何に怒ればいいのか分からない言葉が聴かれます。三、四年生からは、残りの学生生活の計画が頓挫してしまった焦りや、もうこのまま社会人になってしまうのかという不安全感が語られます。それも皆たいいてい堂々と愚痴るのではなく、私だけじゃないのは分かっているけどとか、先生達も大変だと思えますけどとか、そんな心配りをしながら控えめに話されます。

ご自宅でのお子様の様子はどうでしょうか。オンライン授業は

ラクそうに見えて実際はとても疲弊し、集中して受講し続けることは難しいと言います。課題はいつもより多く、課題について友だちと相談できない苦労もあるようです。元気がない様子や、活気のない様子が見られることはありませんか。せっかく大学に進学させたのにとやるせない思いを抱えておられる親御さんもいらっしゃるでしょう。

学 生 相 談 室
だ よ り 114
カウンセラー **森岡さやか**

コロナ禍という初めての事態は「普通だったら」「本来ならば」とそうではなかったはずの今を思わずにはいられません。しかしこれだけ事態が長引くと、もはや非常事態と捉えてやり過ぎすことは難しく、この状況でどう生きていくかという思考に世の中がシフトしているようにも感じます。奇しくも今ここで学ぶことになった学生さん達が自分ならではの学生生活を送ることができるよう(しかし手に入らなかつたものを嘆いてもいいのだということも忘れずに)力添えできたらと思っています。

●十月一日

十月一日は、就職内定解禁日です。

さて、ではなぜ「十月一日」なのでしょう。主な理由は次のとおりです。まずは、日本経済団体連合会が定めた「大学卒業予定者・大学院修了予定者等の採用選考に関する企業の倫理憲章」を経て、大学生の勉強する時間の確保を理由に策定された「採用選考に関する指針」の中で、正式な内定解禁日は十月一日とする、としていることが挙げられます。

ア
ー
リ
タ
リ
64
キ
セ
だ

この「憲章」「指針」は、「大学、短期大学及び高等専門学校卒業・修了予定者に係る就職について(申し合わせ)」でも引き継がれ、正式な内定解禁日が明記され、現在も多くの企業がそれに従っていることが挙げられます。さらに現実的な理由として、内定を出した学生から「内定承諾書」を提出させ、入社への意欲を高める、ということも挙げられます。

前述した「憲章」「指針」は、所謂「就活ルール」と呼ばれるものです。二〇一八年に廃止され、政府主

導でルールの策定をすることになりました。しかし、急激な変化は学生の負担になること、企業も大学も何らかの目安が必要との見解から、暫定的にこれまでのルールを踏襲する「申し合わせ」が策定され、二〇二二年卒まではこの申し合わせが運用されることになっています。では、その次はどうなるのでしょうか。まだはつきりしていませんが、これまでの「新卒一括採用」から「通年採用」にシフトしていくと思われまます。「通年採用」は選考期間が長期化しコストがかかるため、企業側のデメリットが指摘されていますが、コロナ禍の副産物でもあるリモート通信の発展で解消されつつあり、すでに大手では「通年採用」を導入するケースが徐々に出てきています。

キャリアセンターでは、こうした社会情勢の変化を先読みし、対策を講じます。その状況は、このコーナーを含め、適宜お知らせしてまいります。保護者の皆様も是非、政府や国の動きを注視してくださいませうお願いします。

しょうらいがい
松苓会(同窓会)・父母会からの

学生応援 ランチ

カレー丼 150円～
1日40食限定

場所 1号館地下1階 学生食堂
実施日 月～金曜日の平日の授業日
時間 11時～ なくなり次第終了
期間 2021年7月30日まで

※指定の券売機で食券を購入してください。
※カウンターで学生証の提示が必要です。

三松学舎大学



学生 応援ランチ 実施の ご報告

父母会では、松苓会(同窓会)と協力し、コロナ禍で大変な思いをしている学生さんを食の面から支援しようと、春セメスターの2021年6月30日(水)から7月30日(金)まで、1日40食限定で、学生応援ランチを提供いたしました。メニューは前半の6月30日(水)から7月14日(水)までがカレー丼(150円)、後半の7月15日(木)から7月30日(金)までが、唐揚げ丼(200円)でした。毎日ほぼ完売するなど、学生の皆さんに大変好評でした。秋セメスターはオンライン授業からのスタートとなり、学生食堂も営業再開しておりませんが、感染状況が落ち着き、対面授業が再開されましたら、学生応援ランチの実施を検討していきます。

編集後記

二〇二一年七月十七日(土)にオンラインで、地区別父母懇談会を二年ぶりに実施いたしました。父母会初のオンライン開催ということもあり、行き届かない点多々あり、父母会員の皆様には、ご不便をおかけしてしまいましたが、何とか実施でき安堵いたしました。ご出席いただけなかった皆様にも少しでも様子をお伝えできればと思います、今号では、オンライン地区別父母懇談会を特集いたしました。

九段キャンパスでの開催は、毎年ですが、地方の会場については、四年に一度の訪問となってしまうこともあり、参加が難しかった父母の皆様にとって、参加しやすいくちとおおむね好評でした。新型コロナウイルスの収束後も、地方での開催はもちろんのこと、オンラインでの開催ができるよう検討していきたいと考えています。

父母会では、例年、創縁祭(学園祭)に無料休憩所(喫茶室)のかたちで参加しておりますが、感染拡大防止のため、学園祭実行委員会でも対面参加できる人数を制限するなど、オンラインを中心とした創縁祭として、準備を進めていることから役員会としても喫茶室としては参加せず、できる限りのサポートをしていくことといたしました。